

外張り断熱工法

断熱厚75mm超～100mm以下 限定基準

1-6 縦胴縁仕様 各部の規定

⑦出隅部の胴縁施工について

注意事項(共通)

- ・留付ビスの躯体(柱)端空き距離は、15mm以上としてください。
(断熱厚が厚く施工時にずれやすいため、設計上15mm以上としています)
- ・留付ビスの胴縁端空き距離(幅方向)は、30mm以上としてください。
(これ以上端部へ留め付けると、胴縁が斜めに転びやすくなります)

⑦-1 120幅胴縁を用いた出隅納まり

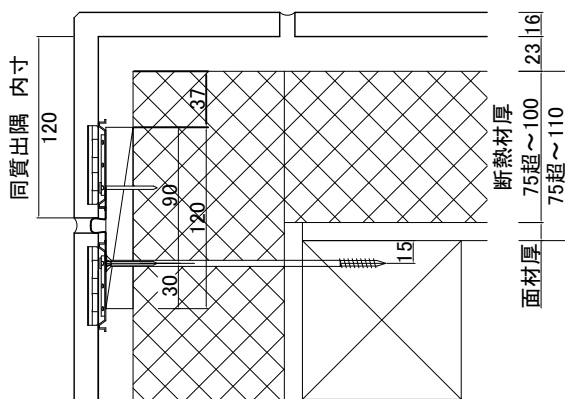
施工条件

- ・同質出隅は、内寸120mm以上のものを使用してください。
- ・出隅部縦胴縁は、120mm幅で下記図を参考に施工してください。

下記図は標準納まり例となります。(※該当部を分かり易くするため、出隅の片側のみの納まり図としております)

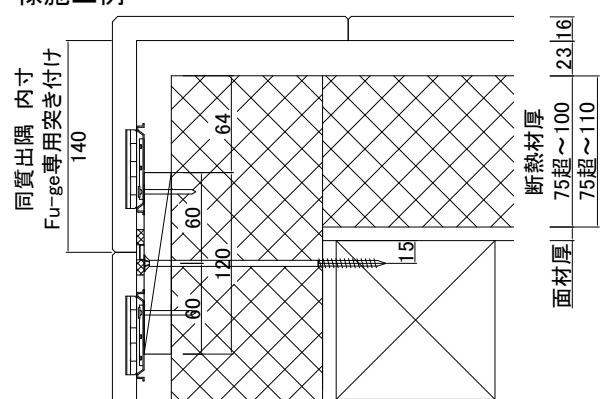
同質出隅 内寸120mm

「断熱厚100mm+面材」でのシーリング仕様施工例



同質出隅 Fu-ge専用突き付け 内寸140mm

「断熱厚100mm+面材」でのノンシーリング仕様施工例



⑦-2 90幅胴縁・45幅胴縁を用いた出隅納まり

施工条件

- ・同質出隅は、内寸140mmのものを使用してください。
- ・出隅部縦胴縁は、90mm幅を外側・45mm幅を内側にして施工してください。

下記図は標準納まり例となります。(※該当部を分かり易くするため、出隅の片側のみの納まり図としております)

同質出隅 Fu-ge専用突き付け 内寸140mm

断熱材角部ー胴縁端距離:60mm

当図は、
「断熱厚100mm+面材」でのノンシーリング仕様

